

第 1 9 期
2 0 1 5 年 4 月 ～ 2 0 1 6 年 3 月

自動車用品小売業協会
決算報告書

目次

P2	2015年度 役員一覧
P3	2015年度 活動報告及びスケジュール
P11	会員向け研修会・シンポジウム ・不正改造防止に向けて自動車検査法人による店舗調査 ・電波利用環境シンポジウム開催 ・企業価値を高める防犯 CSRセミナー開催 ・科学物質のリスクアセスメント説明会開催 ・競争法研修会開催 ・PL法研修会開催 ・自動車検査法人による店舗調査報告会開催 ・自動車会議所様主催の会員研修会
P15	ドライバーに向けて啓発イベント ・交通安全アクション2015に参加 ・春の交通安全運動について ・秋の交通安全運動について ・洗車の日への取り組み ①交通安全アクション2016イベントに参加 ②春の全国交通安全運動に伴い合同イベント実施 ③4月28日は洗車の日イベント
P18	2015年度損益計算書・貸借対照表・監査報告書
P21	海外視察 デトロイト・ラスベガス海外流通視察ツアー 2015

2015年度 役員一覧

理事・会長 : 森 本 弘 徳
(株式会社オートバックスセブン取締役副社長執行役員)

理 事・副会長 : 新 井 範 彦
(株式会社タクティー代表取締役社長)

理 事・副会長 : 蓮 沼 利 幸
(ブリヂストンリテールジャパン株式会社代表取締役社長)

理 事 : 堀 江 康 生
(株式会社イエローハット代表取締役社長)

理 事 : 瀬 古 正
(株式会社クラフト代表取締役社長)

理 事 : 橋 口 高 志
(住友ゴム工業株式会社ダンロップタイヤ営業本部消費財部長)

理 事 : 宮 本 知 昭
(株式会社ヨコハマタイヤジャパン販売促進部部長)

理 事 : 奥 村 吉 明
(株式会社トーヨータイヤジャパン営業本部消費財販売部長)

監 事 : 遠 藤 文 樹
(株式会社フジ・コーポレーション代表取締役社長)

2015年度 活動報告

- 1) 全体会議
 - ・ 定時総会（理事会、懇親会） 5月29日（金）
 - ・ 中間報告会（理事会、懇親会）10月29日（木）
- 2) 理事会
 - ・ 5月29日、10月29日
- 3) イベント参加
 - ・ AAAAL第7回「洗車の日」キャンペーン（4月－5月）
 - ・ 自動車会議所主催「アクション2015」5／17（日）
- 4) タイヤ関連イベント
 - ・ ①千葉県南房総市 道の駅「枇杷倶楽部」5／16（土）
 - ・ ②東京湾アクアライン「海ほたるPA」9／25（金）
 - ・ ③館山道「市原SA」12／15（火）：NEXCO東日本
- 5) コンプライアンス委員会（AAAALでの担当委員会）
 - ・ 中央労働災害防止協会 転倒災害防止勉強会：7月9日（木）
 - ・ CSR勉強会：9月9日（水）
 - ・ 化学物質リスクアセスメント説明会：10月16日（金）
 - ・ 競争法／PL法勉強会：11月25日（水）
 - ・ 検査独立法人との意見交換会 2016年2月24日（水）

※検査法人による店舗チェックは6／5～10／6で実施
- 6) AAAAL関連会議
 - ・ 代表者会議
 - ・ 洗車の日委員会
 - ・ スポーティングパーツ委員会
 - ・ コンプライアンス委員会（上記に記載）
 - ・ 海外視察 北米視察10／31～11／7
- 7) 関連団体の会議参加
 - ・ 自動車部品・用品連絡会（経産省・国交省）
 - ・ 不正改造防止推進協議会（国交省）
 - ・ 自動車点検整備推進協議会（国交省）
 - ・ 自動車税制フォーラム（自動車会議所）
 - ・ 全国万引防止協議会（警察庁）
 - ・ 東京都万引防止官民合同会議（警視庁・東京都）
 - ・ 交通安全アクション2015（自動車会議所）
 - ・ 自動車整備人材確保育成推進協議会（国交省）
 - ・ その他

【月別】

4月

4月1日(水)	油業報知新聞社打ち合わせ
4月2日(木)	A P A R A第45回理事会
4月3日(金)	総務省打ち合わせ
4月6日(月)	会員企業訪問(茨城方面)
4月7日(火)	経済産業省打ち合わせ
4月8日(水)	ドライブレコーダー協議会打ち合わせ
4月9日(木)	会員企業訪問(名古屋方面)
4月10日(金)	自動車検査独立行政法人打ち合わせ
4月13日(月)	自動車会議所 第213回会員研修会
4月14日(火)	第76回自動車部品・用品連絡会 会員企業訪問(仙台方面)
4月15日(水)	A P A R A第1回タイヤ安全点検検討タスク 全国自動車用品工業会打ち合わせ
4月17日(金)	A A A L第1回スポーティングパーツ委員会
4月18日(土) ~	2015 洗車の日 A A A Lイベント・合同取材
4月19日(日)	
4月21日(火)	DMCホールディングス打ち合わせ
4月22日(水)	全国万引犯罪防止機構 平成27年度第1回理事会 日経MJフォーラム2015受講
4月24日(金)	株式会社博報堂打ち合わせ
4月27日(月)	会員企業訪問(東京)
4月30日(木)	交通毎日新聞社打ち合わせ

5月

5月1日(金)	日本オートケミカル工業会打ち合わせ
5月8日(金)	凸版印刷株式会社打ち合わせ
5月12日(火)	自動車検査独立行政法人による店舗調査 自動車会議所 第214回会員研修会
5月14日(木)	日本自動車部品協会 第46回定時総会講演会・懇親会 中央労働災害防止協会打ち合わせ 国土交通省打ち合わせ
5月16日(土)	A P A R A2015 春の交通安全運動イベント
5月17日(日)	交通安全アクション2015
5月19日(火)	J T B打ち合わせ
5月21日(木)	J A C A平成27年度通常総会・講演会・懇親会
5月22日(金)	A A A L第1回洗車の日委員会
5月25日(月)	羽鳥会計打ち合わせ

5月26日(火)	タイヤ公正取引協議会第53回通常総会・懇親会
5月27日(水)	JAMTA平成27年度通常総会・懇親会
5月28日(木)	JAPIA平成27年度通常総会・懇親会
5月29日(金)	APARA第46回理事会・第18回定時総会・懇親会

6月

6月2日(火)	日本万引防止システム協会平成27年度通常総会・記念講演会
6月3日(水)	JIS K2233・JIS K2228 改定原作成委員会
6月5日(金)	全国GP会 2015年度通常総会 懇親会 店舗調査 オートバックス 松江店
6月8日(月)	AAAL海外視察委員会
6月9日(火)	第77回自動車部品・用品連絡会
6月10日(水)	日本自動車会議所第80回定時総会・懇親会 総務省 電波利用環境シンポジウム開催
6月15日(月)	日本自動車機械工具協会打ち合わせ
6月16日(火)	店舗調査 イエローハット 川崎さいわい店 店舗調査 オートバックス SABかわさき店
6月17日(水)	全国万引犯罪防止機構理事会事前打ち合わせ 全国万引犯罪防止機構第2回理事会 全国万引犯罪防止機構通常総会・記念講演会 全日本自動車部品卸商総会・懇親会
6月18日(木)	AAAL第2回スポーティングパーツ委員会 カーたびフォーラム 2015
6月19日(金)	第34回オートサービスショー2015
6月22日(月)	自動車会議所 第215回会員研修会 中央労働災害防止協会 制度説明会
6月30日(火)	万引犯罪防止機構シンポジウム

7月

7月2日(木)	羽鳥会計打ち合わせ
7月6日(月)	店舗調査 イエローハット 福山蔵王店
7月8日(水)	イベント産業展
7月9日(木)	AAAL第1回コンプライアンス委員会 中央労働災害防止協会 転倒災害防止勉強会
7月10日(金)	交通安全。アクション 2015 結果報告・反省会 日刊自動車新聞社 用品大賞 2015

7月14日(火)	平成27年度第1回「自動車点検整備推進協議会」
7月15日(水)	APARA第2回タイヤ安全点検検討タスク
7月16日(木)	東日本高速道路打ち合せ
7月17日(金)	AAAL第2回洗車の日委員会
7月21日(火)	自動車会議所 第216回会員研修会
7月22日(水)	DCMホームマック店舗視察 ㈱ケーブレイン打ち合わせ
7月23日(木)	国土交通省、JACA・JAAMA打ち合わせ
7月29日(水)	第6回万引き追放SUMMERキャンペーン
7月30日(木)	AAAL第23回代表者会議
7月31日(金)	ナンバープレートの取付位置・角度の基準を定める為の検討会

8月

8月3日(月)	店舗調査 オートバックス 金沢入江店 経済産業省打ち合せ
8月4日(火)	店舗調査 イエローハット 南宮崎店 自動車税制改革フォーラム第1回全体会議 タイヤ啓発イベント会場視察
8月5日(水)	店舗調査 オートバックス 住之江店 店舗調査 オートバックス 城南店 店舗調査 タクティー ジェームス 171 茨木店
8月10日(月)	総務省打合せ
8月11日(火)	羽鳥会計打ち合わせ
8月17日(月)	NEXCO東日本打ち合わせ
8月18日(火)	店舗調査 イエローハット 高知インター店
8月19日(水)	AAAL研修事前打ち合わせ
8月20日(木)	交通毎日新聞社打ち合わせ 国土交通省、JAAMA打ち合わせ
8月21日(金)	第18回愛知県万引防止対策協議会参加
8月24日(月)	店舗調査 イエローハット 盛岡南店 店舗調査 イエローハット 福井店 店舗調査

タクティー ジェームス磐田店
店舗調査
タクティー ジェームス盛岡南店

8月25日(火) 洗車の日委員会リーダーミーティング

店舗調査
オートバックス 藍住店
ナンバープレートの取付位置・角度の基準を定める為の検討会
8月27日(木) APARA第3回タイヤ安全点検検討タスク
8月28日(金) JAPAN DIYホームセンターショー2015

9月

9月1日(火) 自動車検査独立行政法人打ち合わせ
9月2日(水) 東京インターナショナルギフトショー2015
9月7日(月) 近畿日本ツーリスト打ち合わせ
9月8日(火) 自動車検査独立行政法人打ち合わせ
海ほたるパーキングエリア視察
9月9日(水) AAAL第2回コンプライアンス委員会
2015年度「企業価値を高める防犯CSR」セミナー
9月14日(月) 自動車会議所 第217回会員研修会
会員企業訪問(名古屋方面)
経済産業省打ち合わせ
国土交通省打ち合わせ
9月17日(木) 近畿日本ツーリスト打ち合わせ
交通タイムス社打ち合わせ
9月18日(金) JACA・JAAMA洗車の日打ち合わせ
9月21日(月) 秋の全国交通安全運動
～30日(水)
9月25日(金) APARA2015秋の全国交通安全運動イベント
9月28日(月) 店舗調査
オートバックス 札幌北47条店
9月30日(水) AAAL第3回洗車の日委員会

10月

10月2日(金) AAAL第2回スポーティングパーツ委員会
10月5日(月) 店舗調査
オートバックス 富山北店
店舗調査
オートバックス ニュー小禄店

10月6日(火)	店舗調査 イエローハット 那覇安謝店
10月7日(水)	中央労働災害防止協会打ち合わせ
10月9日(金)	近畿日本ツーリスト(株)打ち合わせ
10月13日(火)	第78回部品・用品連絡会
10月16日(金)	国土交通省打ち合わせ 自動車会議所 第218回会員研修会
10月21日(水)	NAPAC第12期総会懇親会
10月22日(木)	(一社)日本ドウ・イット・ユアセルフ協会打ち合わせ 店舗調査 オートバックス SAB東雲店
10月26日(月)	経団連会館打ち合わせ
10月27日(火)	ナンバープレート視認性の確保基準検討委員会 東日本高速道路打ち合わせ
10月29日(木)	APARA理事会・記念講演会・懇親会
10月31日(土)	AAAL海外視察セミナー
～11月7日(土)	
11月	
11月9日(月)	JATMA打ち合わせ
11月10日(火)	(株)ケーブレイン打ち合わせ 自動車会議所 第219回会員研修会
11月11日(水)	会員企業訪問(東京)
11月12日(木)	気象庁打ち合わせ (一社)道路交通情報通信システムセンター打ち合わせ
11月16日(月)	会員企業様訪問(東京)
11月20日(金)	小売業8団体と中央労働災害防止機構との安全健康懇談会
11月25日(水)	AAAL競争法研修会(競争法、PL法) (一社)道路交通情報通信システムセンター様打ち合わせ
11月30日(月)	JACA・JAAMA洗車の日打ち合わせ
12月	
12月2日(水)	株式会社イード打ち合わせ
12月3日(木)	日刊自動車新聞打ち合わせ
12月7日(月)	洗車の日2016イベント会場視察
12月8日(火)	第220回 自動車会議所会員研修 第79回自動車部品・用品連絡会
12月10日(木)	(株)GfK打ち合わせ
12月14日(月)	会員企業訪問(東京)
12月15日(火)	NEXCO東日本 交通安全イベント

1 2 月 1 8 日 (金)	AAAL 第 24 回代表者会議
1 2 月 2 2 日 (火)	交通毎日新聞社打ち合わせ
1 2 月 2 4 日 (木)	大同紙工印刷(株)打ち合わせ
1 2 月 2 5 日 (金)	SVH洗車の日イベント打ち合わせ

1 月

1 月 6 日 (水)	(株)BHT、コカ・コーライーストジャパン(株)打ち合わせ 万引犯罪防止機構打ち合わせ
1 月 8 日 (金)	電池工業会 賀詞交換会 機械工具二団体 年賀会
1 月 1 2 日 (火)	中央労働災害防止協会 安全衛生映像発表会参加
1 月 1 3 日 (水)	JACA/JAAMA 賀詞交換会
1 月 1 5 日 (金)	NAPAC 新年の集い
1 月 1 7 日 (日)	SVH三郷店訪問
1 月 1 9 日 (火)	AAAL 第 4 回洗車の日委員会
1 月 2 1 日 (木)	日本自動車部品工業会 新年懇親会
1 月 2 6 日 (火)	日本自動車リサイクル部品協議会 第 5 回定時社員総会懇親会 SVH洗車の日打ち合わせ (株)ジェイシーレゾナンス打ち合わせ
1 月 2 9 日 (金)	自動車会議所 第 221 回会員研修会

2 月

2 月 2 日 (火)	国交省 整備人材確保・育成協議会 ネクセリア東日本・洗車の日イベント打ち合わせ
2 月 5 日 (金)	税制改革委員会 日刊自動車新聞社セミナー
2 月 9 日 (火)	第 80 回自動車部品・用品連絡会
2 月 1 1 日 (木)	会員企業訪問 (京都方面)
2 月 1 5 日 (月)	SVH三郷店 洗車の日打ち合わせ
2 月 1 8 日 (木)	全国自動車用品工業会 (JAAMA) 総会・懇親会
2 月 2 2 日 (月)	洗車の日イベント打ち合わせ
2 月 2 3 日 (火)	中央労働災害防止協会打ち合わせ
2 月 2 4 日 (水)	自動車検査独立行政法人 2015 年度店舗調査報告会 (一社) 全国二輪車用品連合会総会・講演会懇親会
2 月 2 6 日 (金)	日本自動車販売協会連合会 自動車流通政経懇話会パーティー

3 月

3 月 2 日 (水)	油業報知新聞社セミナー
-------------	-------------

3月3日(木)	日刊自動車新聞社打ち合わせ
3月4日(金)	パサール三芳洗車の日イベント打ち合わせ
3月7日(月)	交通タイムス社打ち合わせ
3月8日(火)	S V H三郷洗車の日イベント打ち合わせ 自動車会議所 第223回会員研修会
3月9日(水)	平成27年度第2回「自動車点検整備推進協議会」 平成27年度第1回「不正改造防止推進協議会」
3月15日(火)	A P A R A役員会
3月17日(木)	N A P A Cオートパーツの日打ち合わせ
3月23日(水)	J A C A洗車の日打ち合わせ
3月25日(金)	A A A L洗車の日記者発表 オートパーツの日記者会見 A A A L第25回代表者会議
3月28日(月)	羽鳥会計打ち合わせ 毎日新聞社打ち合わせ
3月29日(火)	中央労働災害防止協会打ち合わせ 交通毎日新聞社打ち合わせ

会員向け研修会・シンポジウム

【不正改造防止に向けて自動車検査法人による店舗調査】

不正改造防止月間にとともに、例年APARA加盟店で実施している自動車検査法人様による店舗調査に伴い、5月12日（火）実店舗にて全国の検査員と実際の商品を元に意見交換を実施。ファーストミーティングでは9アイテムの指摘があり、今後5ヶ月間かけて全国を調査した結果、2016年2月に最終資料を公表。



【電波利用環境シンポジウム開催】

6月10日（水）微弱電波に関する試買テストを実施している総務省は明治記念館にて「電波利用環境シンポジウム」を開催しました。このシンポジウムはAPARAとJAAMAの2団体で総務省に業界としての取組を提案し、JAAMA様の技術委員会の多大なるご尽力で自主基準登録制度の運用を開始出来たことから実現致しました。

微弱無線設備における技術基準適合性の確認として、全国自動車用品工業会 副理事長・技術委員会委員長の加藤学様より業界としての取り組みの説明を頂き、微弱無線設備登録制度の公表があり、総務省総合通信局 電波部長 富永昌彦様より、不法電波撲滅は官民合同で行うのが望ましく、今回民間の業界団体から自主基準となる「ELPマーク」が提唱された事は、非常に喜ばしく、これを広く広める事を望む。とご挨拶がありました。



小売業の立場で消費者に適正な商品を提供する事は望ましい姿であり、コンプライアンスを重視するAPARAとしても、会員各社様に「ELPマーク」添付の商品の奨励と自主基準への登録をお願いするものであります

【企業価値を高める防犯CSRセミナー開催】

9月9日（水）「企業価値を高める防犯CSR」セミナーを実施いたしました。

講師は上智大学地球環境学研究科 客員教授 藤井 良広氏がつとめ、CSRとは何か？

①企業と社会の関係 ②どのステークホルダーと向き合うかを講義したあと、「企業価値向上につながる」のはなぜかというポイントを説明頂きました。また事例紹介・パネルディスカッションでは、警察庁、日本マクドナルド株式会社様から実際に行っている事例を紹介を頂き地域の方とのコミュニケーションや企業の考え方について講義を受けました。



【化学物質のリスクアセスメント説明会開催】

10月16日（金）改正労働安全衛生法に基づく化学物質のリスクアセスメントの説明会が実施されました。今回の説明会は2016年6月より化学物質（SDS交付義務の対象となるもの）を取り扱う事業者が化学物質のリスクアセスメントが義務化されることから、化学物質RAに関する法改正及び関連する指針等の内容や化学物質RAの具体的な方法を解説して頂きました。



【競争法研修会開催】

海外において日本企業がカルテル行為に関与したとして摘発され多額の制裁金を課される事件が増加している事を踏まえ、11月25日（水）経済産業省経済産業政策局競争環境整備室の前花真澄様を講師に迎え「競争法コンプライアンス体制の整備に向けた取り組みについて」をテーマに研修会を実施致しました。メーカー様を中心に46名のご担当者様が受講されました。



【PL法研修会開催】

11月25日（水）「PL施行20年と今後の対応について」株式会社キャプテンの出崎克代表取締役様を講師に迎え国内のPL法、海外におけるPL法について事例を踏まえて講義を頂き、また日高裕紀取締役から、国内PL訴訟事例や米国における自動車・用品部品関連のPL事故例、中国におけるPL事故や関連クレームなどについて解説頂きました。

【自動車検査法人による店舗調査報告会開催】

2016年2月24日（水）「2015年度自動車検査法人による店舗調査報告会」を実施致しました。本年度の指摘アイテムは、窓ガラスへの貼付物13件、灯火・反射材11件、外装品9件、シフトノブ4件、内装品1件、走行装置1件となりました。



【自動車会議所様主催の会員研修会】

本年度も自動車会議所様主催の会員研修に参加させて頂きました。APARAとして企画できない「テーマ」と講師の皆様の講演を受講させて頂き、経営に取り入れさせて頂いております。

第213回 4月13日APARA会員研修

日時：平成27年4月13日（金）15:00～16:30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：これからどうなる自動車運転

～自動車運転の展望と我が国自動車産業の課題～

講師：オートインサイト株式会社代表 鶴原 吉郎 氏

第214回 5月12日APARA会員研修

日時：平成27年5月12日（火） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「車を取りまく日本・世界のトレンド」 ～新ビジネスへのキーワード集～

講師：日本経済研究所 チーフエコノミスト 鍋山 徹 氏

第215回 6月22日APARA会員研修

日時：平成27年6月22日（月） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「オートモーティブ4.0、広がる世界」

～求められるサプライチェーン横断的なビジネス改革～

講師：(株)ローランド・ベルガー 日本共同代表 シニアパートナー 長島 聡 氏

第216回 7月21日APARA会員研修

日時：平成27年7月21日（火） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：新興国自動車市場の不安をどう見通すか

講師：IHS オートモーティブ日本・韓国ビークルセールス

フォーキャストマネージャー 川野 義昭 氏

第217回 9月14日APARA会員研修

日時：平成27年9月14日（月） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「水素をめぐる現状と将来展望について」

講師：①トヨタ自動車(株) 技術統括部主査 河合 大洋 氏

②岩本産業(株) 常務執行役員

水素エネルギー部長 兼 中央研究所副所長 宮崎 淳 氏

③佃モビリティ総研 代表 佃 義夫 氏

第218回 10月19日APARA会員研修

日時：平成27年10月19日（月） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：渋滞と「急がば回れ」の科学 ～渋滞学とは何か～

講師：東京大学教授 西成 活裕 氏

第219回 11月10日APARA会員研修

日時：平成27年11月10日（火） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「ITSの現状と将来像について」

講師：特定非営利活動法人 ITS Japan 理事 武井 明彦 氏

第220回 12月8日APARA会員研修

日時：平成27年12月8日（火） 15：00～17：00

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「画期的な収益構造改革で稼ぐ力を取り戻す日本の自動車業界」

～将来の非連続イノベーションに備える必要がある～

講師：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券(株)

エクイティリサーチ部 エクイティリサーチ課

チーフリサーチアドバイザー 松島 憲之 氏

第221回 1月29日APARA会員研修

日時：平成28年1月29日（金） 15：00～17：00

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「無理・無意味から職場を救うマネジメントの基礎理論」

講師：株式会社リクルートキャリア フェロー 海老原 嗣生 氏

第222回 2月12日APARA会員研修

日時：平成28年2月12日（金） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「COP21 の結果と今後の展望」

講師：一般社団法人 日本経済団体連合会・21世紀政策研究所 副主幹 竹内 純子 氏

第223回 3月8日APARA会員研修

日時：平成28年3月8日（火） 15：00～16：30

会場：日本自動車会館 1階 「くるまプラザ」会議室

テーマ：「本人自覚のない視覚・認知機能低下がもたらす自動車運転への影響」

講師：高知工科大学情報学群教授 篠森 敬三 氏（ご講演者）

高知大学医学部神経精神科学教室 上村 直人 氏

ドライバーに向けて啓発イベント

【交通安全アクション2015に参加】

日本自動車会議所様主催の「交通安全アクション2015」に参加しました。

このイベントは5月16日、17日の両日、東京・江東区青海の複合アミューズメント施設「パレットタウン」内の「メガウェブ」で開催され、家族と一緒に交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベントとして、大勢の家族連れやカップルなどで賑わいました。来場者は昨年と同様に2日間で約5,100人となり、自動車関係団体の交通安全啓発イベントとして定着し、幅広い分野から40の団体や企業が出展・協力致しました。今年のテーマは「家族で広げよう交通安全」。



【春の交通安全運動について】

4月8日「タイヤの日」から「春の全国交通安全運動」期間中、APARA加盟店はタイヤの空気圧点検を全店で実施致しました。各店舗で「のぼり」「ポスター」「チラシ」等を展開し啓発活動に取り組み、5月16日（土）には千葉県南房総市にある「道の駅 枇杷倶楽部」にて、APARAとして啓発イベントを実施しました。

春の全国交通安全運動期間中のイベントは、雨天にもかかわらず多くのドライバーの皆さんの関心を集めアンケートの実施や、ご希望によりタイヤの空気圧チェックを実施する事ができました。



【秋の交通安全運動について】

「秋の全国交通安全運動」期間中APARA加盟店は、主要ロードサイドに店舗を構え、PITを常設しているという利点をいかし、ドライバーにタイヤ安全点検の重要性を継続して啓発いたしました。

また、9月25日（金）に東京湾アクアライン・海ほたるPAで「タイヤ安全点検」啓発イベントを実施し、APARA会員企業様から応援を頂きドライバーへのアンケートや、タイヤの空気圧チェックの啓発、メンテナンス意識の向上をアピールしながら、これ



から需要の高まるスタッドレスタイヤの早期交換を訴えました。



【洗車の日への取り組み】

第7回となる洗車の日キャンペーンを開催いたしました。実施にあたり「東京オートサロン 2015 with NAPAC」「大阪オートメッセ 2015」の会場にて、「洗車の日」チラシとスマホペン立てを配布しながら事前告知を実施。A P A R A加盟各社では4月1日から5月31日の2ヶ月間を洗車月間として各社それぞれキャンペーンを行った。

また今年は代表店舗のイベントとして、スーパーオートバックスみなとみらいにて、メーカー9社による洗車関連用品の実演・体験販売イベントを実施した。A P A R Aインナーキャンペーンとして「売場コンテスト」を実施し参加店舗から優秀店10店舗、入賞店40店舗、合計50店舗の選考を行い表彰した。



2016年度に向けて

1) 2016年 春・秋のタイヤ安全点検キャンペーンの実施

- ・自動車関連団体として「全国交通安全運動」期間中に重点をおいた告知及び活動を通して「安全な車社会づくり」への貢献を目指して活動します。
- ・会員店舗でのPR及び点検活動はもとより店舗以外でのタイヤ安全点検啓発イベントの継続開催でドライバー自身による安全点検の重要性を広く告知していきます。

2) AAA L「洗車の日」啓発活動に参画

- ・参加店舗で共通のぼりの掲示や店頭イベント及びインナーコンテストの実施等で8回目となる「洗車の日キャンペーン2016」を実施し、2017年に向けて啓発活動を行います。

3) コンプライアンス関連勉強会の開催を企画します。

- ・労働環境関連、道交法関連、環境・リサイクル関連、次世代自動車関連、消費者関連、防犯関連などの各種勉強会の開催を通じて会員企業及び店舗のレベルアップを図ります。
- ・関係省庁及び関連団体が主催する会議・研修会・イベント等に積極的に参画し、法規制などに関する新たな情報をいち早く収集し会員企業・店舗に情報提供します。

4) AAA L関連会議に積極的に参加します。

- ・代表者会議
- ・洗車の日委員会
- ・スポーティングパーツ委員会
- ・コンプライアンス委員会
- ・海外視察

5) 関連団体の会議に積極的に参加します。

- ・自動車部品・用品連絡会（経産省・国交省）
- ・不正改造防止推進協議会（国交省）
- ・自動車点検整備推進協議会（国交省）
- ・自動車税制フォーラム（自動車会議所）
- ・全国万引防止協議会（警察庁）
- ・東京都万引防止官民合同会議（警視庁・東京都）
- ・交通安全アクション2015（自動車会議所）
- ・自動車整備人材確保育成推進協議会（国交省）
- ・自動車技術総合機構（旧自動車検査独立行政法人）
- ・中央労働災害防止協会
- ・その他

2015年度 損益計算書

2015 年4月1日から 2016 年3月31日まで

科 目	2015 年度予算	2015 年度実績	予算差額	備考
I 収入の部				
会費収入(正会員)	13,703,000	13,667,000	-36,000	
会費収入(賛助会員)	12,200,000	12,200,000	0	
その他収入		106,871	106,871	
自販機	7,273,000	5,855,106	-1,417,894	
当期収入合計(A)	33,176,000	31,828,977	-1,347,023	
II 支出の部				
荷造運賃	150,000	153,070	3,070	
会議費	7,730,000	7,259,029	-470,971	
旅費交通費	750,000	838,724	88,724	
諸会費	170,000	170,000	0	
保険料	0	9,970	9,970	
支払報酬料	120,000	0	-120,000	
交際費	0	80,102	80,102	
広報費	2,800,000	2,650,269	-149,731	
自販機設置手数料	4,050,000	4,301,991	251,991	
研修	500,000	669,565	169,565	
事業費計(B)	16,270,000	16,132,720	-137,280	
給料手当	8,460,000	8,205,233	-273,383	
交際費	0	84,200	84,200	
通信費	960,000	881,975	-78,025	
備品消耗品費	700,000	551,684	-148,316	
水道光熱費	516,000	485,847	-30,153	
新聞図書費	240,000	265,533	25,533	
支払手数料	350,000	186,783	-163,217	
地代家賃	3,960,000	3,960,000	0	
リース料	864,000	1,040,778	176,778	
租税公課	137,000	220,150	83,150	
支払報酬料	684,000	649,124	-34,876	
雑費	35,000	24,575	-10,425	
管理費計(C)	16,906,000	16,555,882		
販売管理費(D)=(B)+(C)	33,176,000	32,688,602		
営業損益(A)-(D)	0	-859,625		
税引前当期純損益	0	-859,625		

2015年度 貸借対照表

2016 年3月31日まで

科 目	前期繰越	当期残高	増減	備考
現金	374,354	389,967		
普通預金	3,681,120	13,856,880		
現金・預金合計	4,055,474	14,246,847	10,191,373	
貯蔵品	0	0		
棚卸資産合計	0	0	0	
前払費用	0	0	0	
未収入金	312,440	450,844		
他流動資産合計	312,440	450,844	138,404	
敷金	1,731,432	1,731,432	0	
固定資産	1,731,432	1,731,432	0	
資産合計	6,099,346	16,429,123	10,329,777	
未払金	1,721,197	1,704,501		
預かり金	17,588	11,128		
仮受金	487,722	11,700,280		
流動負債合計	2,226,507	13,415,909	11,189,402	
負債合計	2,226,507	13,415,909	11,189,402	
繰越利益	3,872,839	3,872,839		
当期純損失	0	-859,625		
繰越利益剰余金	3,872,839	3,013,214	-859,625	
純資産合計	3,872,839	3,013,214	-859,625	
負債・純資産合計	6,099,346	16,429,123	10,329,777	

監 査 報 告 書

規約第40条により、2016年3月31日に提出された2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）事業報告書・損益報告書・貸借対照表は監査の結果すべて適正なるものと認めます。

2016年5月22日

（一社）自動車用品小売業協会

監 事

遠 藤 文 樹



海外視察

デトロイト・ラスベガス海外流通視察ツアー 2015

- 企画／主催 オートアフターマーケット活性化連合(AAAL)
- 旅行企画実施 近畿日本ツーリスト(株) E C C 営業本部 第2 営業支店
- 期間／旅程

1 日目	10 月 31 日 (土)	東京 (成田) 発	
2 日目	11 月 1 日 (日)	デトロイト視察	・オートモーティブ・ホール・オブ・フェーム ・ヘンリーフォードミュージアム ・グリーンフィールドヴィレッジ ・デトロイト博物館 ・デトロイトタイガース球場観光
3 日目	11 月 2 日 (月)	デトロイト視察	・トロイモーターモール ・フィールドリ्यूージュ工場 ・ミシガン中央駅 ・GMワールド ・在デトロイト日本領事館 ・ホンダディーラー ・オライリーオートパーツ
4 日目	11 月 3 日 (火)	ラスベガス 視察	・SEMA SHOW 自由視察
5 日目	11 月 4 日 (水)	ラスベガス 視察	・SEMA SHOW 自由視察
6 日目	11 月 5 日 (木)	ラスベガス 視察	・キャデラックディーラー ・トレーダージョーズ ・ペップボーイ ・オートゾーン ・バスプロショップ ・プレミアアウトレット・ノース
7 日目	11 月 6 日 (金)	ラスベガス 発	移動日 成田へ (ロサンゼルス経由)
8 日目	11 月 7 日 (土)	東京 (成田) 着	到着後、解散へ

■参加者 （３２名）

※順不同・敬称略

1	株式会社 ボンフォーム	西脇 保彦	代表取締役社長
2	辰巳屋興業 株式会社	青木 乙彦	代表取締役会長
3	株式会社 オートボックスセブン	加藤 哲也	車検・サービス担当 執行役員
4	株式会社 オートボックスセブン	外丸 勝己	カー用品商品部 バイヤー
5	株式会社 オートボックスセブン	富井 飛雄	商品開発部
6	株式会社 タクティー	佐藤 清	ピット企画部 商品企画室 室長
7	株式会社 タクティー	村主 律子	熊谷物流センター 供給管理室 室長
8	株式会社 カーメイト	古川 泰司	国内営業統括部 東京営業１部 課長
9	星光産業 株式会社	浅井 忠	営業本部 副本部長
10	星光産業 株式会社	松井 大樹	製品企画室
11	株式会社 セイワ	石井 涼一	営業部 係長
12	錦産業 株式会社	佐久間 由治	代表取締役
13	株式会社 ボンフォーム	三橋 修士	東京営業所 所長
14	株式会社 ソフト99 コーポレーション	盛 輝幸	東京第三営業部 課長
15	株式会社 ソフト99 コーポレーション	林田 真一郎	名古屋支店 副支店長
16	武蔵ホルト 株式会社	佐々木 実	企画開発部 マーケティング担当部長
17	株式会社 アクセス	中坊 拓元	商品部 マネージャー
18	株式会社 アクセス	沼本 貴光	新潟営業所 所長
19	エイケン工業 株式会社	原 豊	総合管理部 係長
20	エイケン工業 株式会社	横田 浩之	営業部 次長
21	エンパイヤ自動車 株式会社	上橋 敦	経営企画室 室長
22	コーヨー久永 株式会社	松野 弘文	本社 代表取締役社長
23	辰巳屋興業 株式会社	南 和則	用品部 課長代理
24	辰巳屋興業 株式会社	中村 信勝	海外部 係長
25	辰巳屋興業 株式会社	平山 直子	海外部
26	辰巳屋興業 株式会社	小紫 菜緒子	海外部
27	中央自動車工業 株式会社	藤本 忠	北関東支社 副支社長
28	中央自動車工業 株式会社	塩田 淳	名古屋支社 マネージャー
29	明治産業 株式会社	柏原 典行	総務本部 常務取締役
30	明治産業 株式会社	石井 雅敏	国内本部 執行役員 国内本部長
31	株式会社 ブリッツ	小野田 貴之	営業部 エキスパート
32	(一社)自動車用品小売業協会	山下 睦	事務局長

2006年から毎年実施している SEMA ツアーも今年で10回目を迎えました。

今回の SEMA ツアーは日本自動車部品協会（J A P A）様と一緒にデトロイトからラスベガスのコースで実施いたしました。

【現在のデトロイト】

100 年以上の歴史を誇る、古き良き高層建築群。しかし溢れるような人混み、豊かなネオンサインに輝くカフェがありません。2014 年春には、ハリウッドの新作映画『バットマン vs スーパーマン』のロケも行われた事が納得がいきます。2013 年 7 月に連邦裁判所に破産を申告し、昨年の A A A L 海外流通視察セミナーで訪れた時の街の雰囲気は「荒れ果てた都」「終わった街」という印象とは少し趣を変えており、さらに今年は活気を取り戻しつつある。



デトロイトの街の中心、GM（ゼネラルモーターズ）本社があるダウントウンと、そこに隣接し教育施設が多く点在するミッドタウンに活気が戻っている。荒れ果てたビルもあり、人混みはまだまだ少ない一方、あちこちの道路で補修工事が行われダウントウンとミッドタウンの空き室率は僅か 2% まで回復している。デトロイトを含むミシガン州で大きな基盤を築いてきた日系人を含む日本人・企業社会は、今回のデトロイト復興にどう向き合ったのか。デトロイト市を中心とし、人口約 300 万人を抱えるデトロイト都市圏（メトロデトロイト）に総領事館や領事館を置いている国は計 7 カ国。自動車産業と縁が深い日本とイタリア、アメリカと国境を接するカナダとメキシコは別として、他の 3 カ国はイラク・レバノン・マケドニアが並ぶ。デトロイトの日本総領事館によれば、ミシガン州には約 1 万 2500 人の邦人が暮らし、約 470 の日系企業が約 3 万 7000 人の雇用を生み出している。雇用の 95% は現地採用。デトロイトの人々に対する日本の貢献は「very strong」と認識され、2013 年夏に“デトロイト破産”が大きなニュースになった時もほぼ唯一と言って良い貢献をした外国企業が日本の企業だった。最初に動いたのがトヨタ。2014 年 8 月にトヨタは、破産による美術品の流出が懸念されていたデトロイト美術館に 100 万ドルを寄付することを発表。他の日系企業も 2014 年 11 月に 220 万ドルの寄付を行うことを決め後に続いた。トヨタはデトロイト都市圏に対し、直接雇用だけで 1200 人、関連企業を合わせると 8000 人の雇用をしている。

今回現地の視察では、デトロイト市の復興と日系企業のとののかかわり、そして海外投資としての土地・建物の活用など注目すべき点が多く見られた。

【在デトロイト日本国総領事館 セミナー：「米国経済と日米経済の関係」】

2015 年 10 月、日米が交渉をリードし、TPP の大筋合意を実現。TPP は地域の経済的繁栄のみならず安全保障にもふれ、戦略的意義を持つところで引き続き日米で連携していく。ミシガン州における日系企業の事業所数は 487 ヶ所で日本は主要な海外投資国となっている。事業所の 55% は製造業のうち 62% は自動車関連である。オハイオ州の日系企業は 422 ヶ所 2014 年で事業所の 60% が製造業、うち 51% が自動車関連となっている。また日系企業の雇用は 98% を現地採用という高い水準である。今後日米経済は協力のすそ野を広げ、①官民連携の強化②州・地方レベルの協力（貿易・投資・エネルギー・環境・気候変動等）③TOMODACHI イニシアチブ（教育・文化交流・リーダー



ーシップといったプログラムを通して次世代リーダーの育成を目指す)。



左・在デトロイト日本国総領事館 和田様 竹村様



【デトロイト市内】

ようやく町の復興作業が動き始め 古いビル等復興プロジェクトのスタートし、デトロイト市内に人が戻る復活へのスタートが始まったようです。

ミシガン中央駅は 1913 年に設立された 18 階建てのビルです。建設当時は世界で最も高い鉄道駅として有名になりました。1975 年に国家歴史登録財に指定 しかし 1988 年に閉鎖され今は観光名所になっています。



古いレンガ壁のビルは 1920 年代のビルです。

【モータウン】

1950年代からミュージシャンとして活動していたベリー・ゴードン・ジュニアがジャズのレコード店を開いたのが始まり。しかし店は不振により、閉店に追い込まれる。一時は負債の返済のため、



デトロイトのGMの組立ラインで働いたが、それでも音楽に対する情熱を絶つことなく自身で書いた曲を売り込んで回る。その甲斐あって、R&Bシンガーのジャッキー・ウィルソンらに認められ、自身の曲がとり上げられるようになる。意を決したゴードィは「黒人向けのR&Bではなく、白人層にも自分たちの音楽の良さを理解して欲しい」という思いから、銀行から600ドルを借金し、モータウンレコードを設立する。最初はMotownとTamlaの2つのレーベルのみだったが、1961年にゴードィ自らが発掘した、スモーキー・ロビンソン&ザ・ミラクルズの“ショップ・アラウンド（"Shop Around"）”が全米チャートの上位に送り込まれたのを皮切りに、その後もダイアナ・ロスが在籍していたことで知られるシュープリームスなどにより、次第にヒット曲を重ね、大型レーベルへと成長してゆく。

【自動車殿堂(Automotive Hall of Fame)】

1939年に設立され、自動車産業にかかわった人たちの業績を称える為に設立された自動車の殿堂。館内には発明家や企業家250人が殿堂入りしています。

CVCC エンジンの開発を主導、シビックに搭載し 1970 年代の米国排気ガス基準を満たした最初のメーカーとして、自動車殿堂に 1989 年 本田総一郎が殿堂入りしている。

HONDA ACCORD 米国 OHIO 工場第1号車が展示してある。



殿堂入りした主な著名人

・ヘンリーフォード（1967年）・ウォルタークライスラー（1967年）・トーマスエジソン（1969年）・デイビットビュイック（1974年）・ルドルフディーゼル（1978年）・ホーランسدッジ（1981年）・カールベンツ（1984年）・ロバートボッシュ（1984年）・フェルディナントポルシェ（1987年）・WOベントレー（1995年）・エンツォフェラーリ（2000年）・アンドレミシュラン（2002年）・ジョンダンロップ（2005年）等

日本人としては、・豊田英二（1994年）・田口玄一（1997年）・片山豊（1998年）・本田宗一郎（1989年）・張富士夫（2001年）・梁瀬二郎（2004年）・石橋正二郎（2001年）豊田章一郎（2007年）



【ヘンリー・フォード博物館(Henry Ford Museum)】

ヘンリーフォード博物館は、アメリカでは「ザ・ヘンリー・フォード」もしくは「ヘンリー・フォード博物館とグリーンフィールド・ビレッジ」と一般的には呼ばれているが正式には「エディソン・インスティテュート」となる。

「ヘンリーフォード博物館とグリーンフィールドビレッジ」は博物館複合施設であり、アメリカ合衆国国定歴史建造物に指定されている。ヘンリーフォード博物館はヘンリーフォード氏が個人的趣味で収集し始めた歴史的生産物のコレクションを博物館とし、アメリカの機械文化の歴史的博物館といえる。

著名な展示物としては、フォードの原子力自動車、ジョージワシントン元大統領が使用していたキャンプ用ベット、ケネディー元大統領が暗殺されたときに乗っていた特注リムジンなどがある。



館内はとても広く、蒸気機関・発電機、ファニチャー、生活文化等のコーナーが有りゆっくり見ると1日が必要となる。

【グリーンフィールドビレッジ】

ヘンリーフォード博物館がアメリカの機械文化の歴史博物館に対してグリーンフィールドビレッジはアメリカの歴史家屋・建造物を移築保存している。

T型フォード全盛の1920代のディアボーンの街(村)を再現し、自動車や蒸気機関車も当時のモノを走らせています。スタッフの服装も、建物も全て1920年代をイメージしています。



【エジソン研究所】

ここでエジソンがいろいろな研究・実験をしました。

天上に小さく見えるのが電球です。日本の竹を使ったフィラメントでこの電球の明るさはたった 6W、10 個合わせても 60W です。またエジソンの声や当時の録音機も実際に動く状態で保管されています。



【FORD MOTOR COMPANY】

設立当時を再現し、T 型フォードは 16 年間販売つづけ 全世界で 1500 万台を販売した。



【フォードリバー・ルージュ工場見学 Ford Rouge Factory Tour】

1916 年に、ヘンリー・フォードが建設した巨大工場で、最大の特徴は工場内に高炉を所有し、鉄鉱石を運んでわずか 28 時間後に T 型フォードを生産できた事です。

(この記録は現在も破られていません。)

高炉を建設した理由として、内製化により効率化を図ったほか、当時バナジウム鋼を生産できる製鉄所がなかった事が挙げられます。

全盛期には、従業員数 120,000 人が働いていました。

現在は PicUp の F150 を生産しており生産ラインを見学用に公開しています。



「Rouge Factory Tour」は 2 時間で、自動車の歴史を「3D 映像」で説明を受けてから、見

学コースに入り、最上階からフォード社の歴史・ルージュ工場の特徴等の説明を受けます。
工場内の写真撮影は禁止なのでライン行程は紹介できませんが、ピックアップトラックの F-150 はアメリカ国内のベストセラーの座を守り続け FORD 車全体の約 30%を占めているそうです。



【デトロイト市内「小売店舗クリニック」】

・オライリー・オートパーツ



全米にチェーン展開するオートパーツの小売店舗で、典型的な DIY 向け倉庫型販売店舗となり低価格訴求をベースにパーツとアクセサリを販売しており、メンテナンスやバッテリー交換・修理等のサービスは一切行っていない。

経営の特徴は①セルフ式と対面式の融合。②標準店舗がなく、それぞれの店舗で外観、取扱い商品、店内レイアウトが異なる。③同種類商品の紹介を「グッド」「ベター」「ベスト」で紹介し比較を多く取り込んでいる。これにより 1 ランク上の商品を購入する方法となる。

・ HONDA

デトロイトにある HONDA のディーラーを訪問しました。

訪問時にアポイントしていたマネージャーが急遽不在で部品担当が倉庫や P I T 内を案内して頂きました。当初予定していた市場規模やユーザー動向、社員教育などのお話は伺えませんでした。在庫の管理状況など見学させていただきました。



【SEMA SHOW 2015 Las Vegas 視察】

SEMA ショーは世界で最高の「自動車アフターパーツ&カスタマイズカー」のイベントです。自動車、トラック、およびRV市場で、100カ国以上から10万人以上の業界リーダーを集めています。昨年は各国から5万人以上のバイヤーを招きました。

ディスプレイは、12のセクションに分割し、それらの新製品ショーケースは約1,500、新たに導入された部品、ツール、及びコンポーネントを特色にしました。

また、SEMA ショーは、教育セミナー、製品デモ、特別なイベント、ネットワーキングの機会と詳細と参加者を提供しています。

SEMA訪問に際して Director of SEMA International and Government Affairs の Linda Spencer を訪ねご挨拶をいたしました。歓談のなかで日本の東京オートサロンに興味があり訪問したいと申し出がありました。



1、展示の12のセクション

- ・ビジネスサービス
- ・ホットロッドアリー
- ・モバイルエレクトロニクス&テクノロジー
- ・ペイント、ボディ機器
- ・Powersports&ユーティリティ車
- ・レーシング&パフォーマンス
- ・修復市場
- ・モデルチェンジ&カーケアアクセサリ
- ・ツール&機器
- ・トラック、SUV&オフロード
- ・ホイール&アクセサリ
- ・OEM





【日本のカー用品メーカーからの出展企業の一部紹介】

・ 星光産業 SEIKOSANGYO Corporation



・ カーメイト



・ PIAA



・ Tanabe USA/SSR WHEELS ロッセ



・ トラスト



・ キヤ





【LAS VEGAS 小売店舗クリニック】



のふれあいを重視している。

・トレーダー・ジョーズ

トレーダー・ジョーズは中流階級をターゲットにして、P B比率100%を目指している。現在の取扱い商品数は4000アイテムで一般的なスーパーの5000アイテムと比べると少ない。そのうち85%~90%がP B商品である。

また、セルフレジを作らない事も特徴の一つで、顧客と



サービスの併設。②小売部門はもたずサービスだけの店舗（タイヤ交換中心）。③パーツアクセサリーのみ的小売店舗。この3形態がある。

・ペップボーイズ ThePepBoys

アメリカのオートパーツ業界において老舗的存在で、1921年に1号店をオープンした。1990年代には店舗数の拡大競争や価格競争を避け、DIY志向が強い中

必要に応じてサービスを行うワンストップショッピングのコンセプトを前面に打ち出しこれを標準店舗とした。現在では①パーツアクセサリーの小売販売部門とサ



・オートゾーン AutoZone

米自動車部品小売り2位。

昨年までパーツ売上1位だったが首位を Advance Auto Parts に譲った。

パーツ&アクセサリーの販売のみで Pit サービスが無いのが特徴。上のペップボーイズと対象店。

駐車台数も10数台と狭い小型である。



・バスプロショップ Outdoor World by BassPro Shop

アメリカ最大のアウトドア・スポーツ用品チェーンストアで、衣料品・靴からモーターボート、拳銃・ライフルまでの品揃えです。

店内はとても広く 人口の川・滝が有り水が流れている。エンターテイメント型大型カテゴリーキラー。

・Las Vegas Valley Automall (バレーオートモール)」



ラスベガス近隣で最大のオートモール

18 のディーラー及び 24 のブランドが集積されたオートモール。バレーオートモールは、ラスベガスの隣町であるヘンダーソン市に立地しラ

スベガスのストリップから東南に約 20 マイル (約 30 キロ) に位置するラスベガス近郊では最大の車ディーラー集積地区となる。現在では南ネバダでは最大のオートモールまでに成長した。このオートモールという形式はアメリカ人のクルマ購入方法に非常に適していることがその成長の要因の一つとなっている。

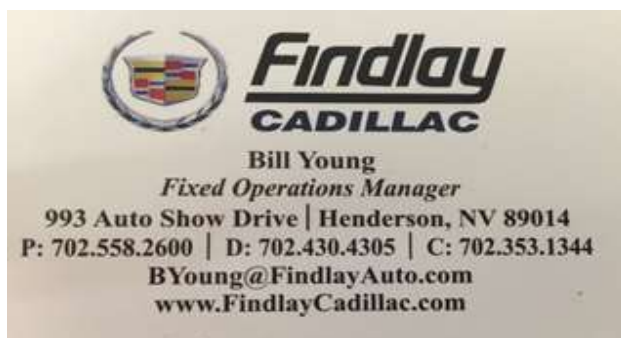


18 も数あるディーラーの中から、今回は GM グループのキャデラックディーラー「Findlay CADELAC」を訪問。

【キャデラックディーラー「Findlay CADELAC」】

キャデラック (Cadillac) は、ゼネラルモーターズが展開している高級車ブランドである。外観は普通の建物のディーラーであるが、中に入って驚いたのが新車屋内展示 80 台の圧倒的ボリューム感があり月間 300 台を販売している優良企業です。

FindlayCADELAC セールスマネージャー ビル・ヤングさんの説明によるとキャデラックのオーナーの平均年齢は 60 歳で、ゆっくりした運転を楽しんでいるとの事。



リピート率 80% 一度オーナーになると他車への乗り換えは余りしないそうです。

更に・地下に高さ 6M、48 台のリフト 広い整備工場

夏のラスベガスの気温は 45 度 C を越える為 お客様に快適な環境とリラックスできる場を提供している。



以上